

平成16年度 日本自転車振興会補助事業の概要

補助事業名：平成16年度 四国における研究開発マネジメントに関する調査研究補助事業
補助事業者名：(財) 四国産業・技術振興センター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

四国経済は、緩やかに持ち直しているとの見方があるものの、下請中小企業が大部分を占める四国の機械工業においては、大企業の部品調達先が景気の低迷や低廉かつ豊富な労働力を求めて海外へシフトするなど、極めて厳しい経済状況にある。

このような中、四国の機械工業が生き残るためには、下請体質から脱却し、自らが高付加価値の新たな技術・製品を開発し、商品化・事業化を目指すため効果的な研究開発マネジメントを行うことが重要と考えられる。

しかし、中小企業は経営資源不足のため、イノベーションを図る重要な手段の一つである研究開発マネジメントが十分に理解・実施されているとは言えず、特に産学官連携という新しい枠組みにおいて研究開発マネジメントをどのように行うかが、重要な課題となっている。

そこで、四国の機械工業分野における研究開発プロジェクトの事業化促進の観点から、当センターでは国や自治体の補助事業による大学と企業との共同研究開発や機械工業企業を中心とした研究開発事例を対象に、研究開発マネジメントの実態や問題点、成功の秘訣を明らかにしつつ支援策を提案し、四国地域の機械工業振興の一助に資する。

(2) 実施内容

(実施内容)

四国地域の機械工業を中心とする研究開発マネジメントの現状、問題点・課題などを明らかにするとともに、より有効に機能する支援方策やその実現プロセスの検討を行った。

具体的には、

- ◇四国地域の産学連携による研究開発の現状
- ◇四国地域の機械工業の研究開発マネジメントに関する取り組み状況
- ◇研究開発マネジメント支援及び支援活用に関する事例
- ◇四国地域の機械工業に対する研究開発マネジメント支援に関する問題点・課題
- ◇四国地域の機械工業に対する研究開発マネジメント支援方策の提案

などの調査や研究を行った。

なお、調査研究の実施にあたっては、当センター内に学識経験者等で構成する調査委員会を設置して検討を重ねた。

(調査委員会開催状況)

委員会	開催年月日	開催場所
第1回調査委員会	平成16年 7月 9日(金)	高松市
第2回調査委員会	平成16年12月24日(金)	高松市
第3回調査委員会	平成17年 3月 2日(水)	高松市

(結果等)

下記のとおり、研究開発マネジメント支援プロジェクトの提言をまとめることができ、当財団の賛助会員や四国各県の産業支援財団などに報告書を配布した。今後、この提言を、当センターをはじめとする関係機関が具体化することにより、四国における機械工業を中心とする企業の高付加価値の新たな技術・製品の開発とその商品化・事業化が促進されることが予想される。

<四国地域の機械工業に対する研究開発マネジメント支援プロジェクト>

1. 技術と経営が分かるMOT人材の育成支援

(1) 地域新生コンソーシアムを活用したMOT教育システムの構築

- ①大学院MOT教官の地域新生コンソーシアムへの参画により商品化・事業化を支援する。
- ②地域新生コンソーシアムを活用した「MOT事例演習プログラム」を作成し、地域新生コンソーシアム参画企業や一般の企業へのMOT教育を行う。

(2) ショートプログラム型MOT教育の企業への提供

企業におけるMOT人材の育成をさらに加速するために、必要な科目に絞ったプログラムを用意し、社会人が気軽に参加でき、実践的なMOTを短期間で学べるショートプログラム型のMOTスクールを開催する。

(3) MOT普及啓発事業の推進

MOT教育支援機関によるセミナーの開催など、MOT普及啓発事業の推進を行う。

2. 地域新生コンソーシアムにおける事業化を念頭に置いたプロジェクトマネジメントの支援

(1) 地域新生コンソーシアムの事業化・商品化を促進するため、

- ・研究成果を商品化・事業化の観点からマネジメントできる
 - ・一定の技術的知見を有する
 - ・地域の研究開発資源にパイプを持つ など
- 一定の条件を満たすプロジェクトマネージャーを導入する。

(2) 地域新生コンソーシアム管理法人も従来の役割りを拡大し、地域新生コンソー

シテムに管理法人がない場合、それと同等かもしくはそれに近い役割を果たす。

3. 産学連携応援隊（任意団体、NPO）の組織化

・大学OBの経済人など有志が出身大学の産学連携を支援しようと任意団体を設立することや、企業OBなどが集まって地元の大学の産学連携を支援するNPOの設立を支援する。

2. 予想される事業実施効果

今回提言した、種々の研究開発マネジメント支援プロジェクトが当センターをはじめとする関係機関の取り組みによって具体化されることにより、四国における機械工業を中心とする企業の高付加価値の新たな技術・製品の開発とその商品化・事業化が促進されることが予想される。

3. 本事業により作成した印刷物等

四国における研究開発マネジメントに関する調査報告書

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人四国産業・技術振興センター(シコクサンギョウギジュツシンコウセンター)

住所： 760-0033
香川県高松市丸の内2番5号

代表者名： 理事長 山下 一彦(ヤマシタ カズヒコ)

担当部署： 産業調査部(サンギョウチョウサブ)

担当者名： 課長 清谷 智宏(キヨタニ トモヒロ)

電話番号： 087-851-7083

FAX 番号： 087-851-7027

E-mail： kiyotani@tri-step.or.jp

URL： <http://www.tri-step.or.jp/>

※この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。